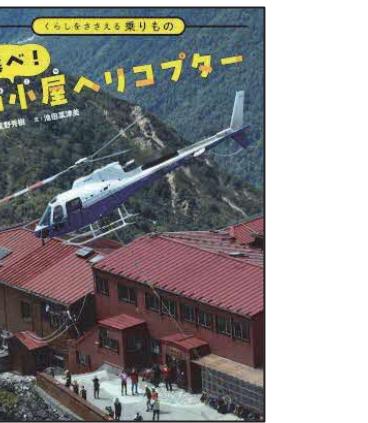


『暮らしをささえる乗りもの 飛べ！山小屋ヘリコプター』

ほしの ひでき しゃしん いけだ なつみ ぶん
星野 秀樹 写真 池田 菜津美 文
新日本出版社

槍ヶ岳のひょうこう高3080メートルにある山小屋と山のふもとをつなぐのは、山小屋ヘリコプター。1週間に1回、食べものや飲みものをまとめてはこびます。整備士のチェックを終えて、いざ出発！ひとつめの山小屋への配達が終わったら次の山小屋へ。とどけられた荷物は、山小屋にとまる登山者の食事やお土産になります。



『ペット探偵事件ノート 消えたまいごねこをさがせ』

あかはね じゅんこ さく なかだ いくみ 絵
赤羽 じゅんこ 作 中田 いくみ 絵
講談社

学校からの帰り道、宙は幼なじみの弥生から話しかけられました。「うちのねこ、ソックスがいなくなってきたの」。

ペット探偵をしている源おじさんと、「ペット探偵七つ道具」を使ってさがし始めますが、6番目の道具はせんたくネット。何に使うのでしょうか？そして7番目は…。



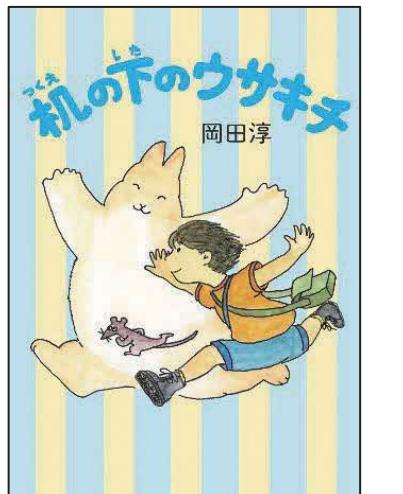
このリストは、2024年に出版されたなかから3・4年生のみなさんにおすすめの本を掲載しています。

しながわとしょかん 品川図書館	きたしながわ 北品川2-32-3	TEL 3471-4667 FAX 3740-4014
ふたばとしょかん 二葉図書館	ふたば 二葉1-4-25	TEL 3782-2036 FAX 3782-9430
えはらとしょかん 荏原図書館	なかのぶ 中延1-9-15	TEL 3784-2557 FAX 3784-8951
みなみおおいたしょかん 南大井図書館	みなみおおい 南大井3-7-13	TEL 3761-6780 FAX 3768-7976
げんじまえとしょかん 源氏前図書館	なかのぶ 中延4-14-17	TEL 3781-6273 FAX 5702-4190
ゆたかとしょかん ゆたかちょう 豊町1-17-7		TEL 3785-6677 FAX 5702-4035
おおいたしょかん 大井図書館	おおい 大井5-19-14	TEL 3777-7151 FAX 3777-4970
ごたんだとしょかん 五反田図書館	にしごたんだ 西五反田6-5-1	TEL 3492-2131 FAX 3492-4995
おおさきとしょかん 大崎図書館	きたしながわ 北品川5-2-1	TEL 3440-5600 FAX 3440-5604
おおさきとしょかんぶんかん 大崎図書館分館	おおさき 大崎3-12-22	TEL 3491-3430 FAX 3491-3291
やしおとしょかん 八潮図書館	やしお 八潮5-10-27	TEL 3799-1414 FAX 3790-3442
おおさきえきにしち 大崎駅西口 図書取次施設 (おおさきこども図書室)	おおさき 大崎2-11-1 おおさき 大崎ウィズシティテラス2階	TEL 5487-6551 FAX 5487-6588

このリストの書影は、各出版社の許諾を得て使用しています。

よんでみたいな！

3・4年生



『机の下のウサキ』

岡田 淳
偕成社

しながわくりつとしょかん
品川区立図書館

『あたしデイズ』

いとう みく さく ひらさわ ともこ 絵
平澤 朋子 絵
新日本出版社



はっけん とうかいどうしんかんせん 東海道新幹線』
山崎 友也 監修
ほるぷ出版



いっぽくふつか いどうきょうしつ はんぎ 1泊2日の移動教室の班決め。
むつき なかよ 瞳月は、仲良しのガッコとコマリといっしょのつもりでいたら、2人はだまつて他の子と班を組んでしまった。その後も2人は瞳月をむしする。どうしてきらわれたのか分からず、コマリに聞くと、「言わなきやわからないの？」「自分で考えなよ」と言われてしまい…。

はっけん とうかいどうしんかんせん 東海道新幹線』

とうきょう しんおおさか とうかいどうしん 東京から大阪をつなぐ東海道新幹線。この本では、おなじみの「のぞみ」や試験走行中の超電導リニア、停車する駅の周辺の情報が紹介されています。ながめているだけで、旅行に出かけた気分になります。
ほか かんとうほくしんかんせん きゅうしゅう 他の巻では東北新幹線や九州・西九州新幹線も取り上げています。

『アナトール パリの空をとぶ』

イブ・タイタス

さく

石津

いしづ

ちひろ やく

好学社

ある日、ねずみのアナトールは古い大だこを見つけて持ち帰り、家族や友だちのガストンといっしょにやぶれた場所を直していました。するととつ然ライオンのうなり声のような風がふき、大だとねずみたちはパリの空に飛ばされてしまいました。

ねずみたちは無事、地上にもどることができるのでしょうか…。



『バッタマンション』

北川

佳奈

文

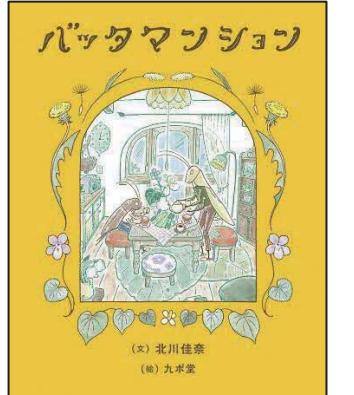
きゅう

どう

え

アリス

館



虫たちがくらす小さなマンション、通じよう「バッタマンション」。キリギリスはマンションのひびが10本になつたら、でていくと決めています。ついに10本めが見つかり、大家さんのところへ行きますが、いつもたよりにしているといわれて、ひっこしいといえなくなってしまい…。虫たちの短いお話を5つ入っています。

『ぼくは、ういてる。』

なかがわ

ちひろ

さく

のら書店



ぼくは、ときどき ういている。ちょっとだけね。だいたい 20センチか 30センチくらい。まわりからは、ぼんやりしているように みえるらしくて、しかれたり、わらわれたり、おいていかれたりする。

だけど、いやなことばかりでもない。ういていると、おもいがけないものが みえるんだ。きょうだって…。

大西

暢夫

著

アリス館



ひき石と24丁のとうふ

『ひき石と24丁のとうふ』

おおにし

のぶお

ちよ

かん

アリス

館



ひき石と24丁のとうふ

大西暢夫

著

アリス

館

ひき石と24丁のとうふ

大西暢夫

著